

令和5年度

認定こども園 吉井にじいろこども園 事業報告書

佐世保市吉井町吉元 540 番 1

社会福祉法人ひなたの会

社会福祉法人ひなたの会

認定こども園 吉井にじいろこども園 事業報告

1. 事業報告にあたって

3年間のコロナ禍を経て5類に移行後、前年度には流行しなかったコロナ以外の感染症も流行り、子どもだけでなく職員の感染も多く、通常保育の提供が難しい時もありました。職員のマスク着用は個人の判断で行いましたが、マスクをする目的や子どもに与える影響を知り、職員1人ひとりが考えて行動しようというねらいを共有しました。この様にねらいを持ち、職員1人ひとりが子ども達の為に自分自身がどうあったらいいかを考えるということは今年度、より深く学んだことだったと感じています。感染症に悩まされながらでしたが、保育要領に表されている保育・養護・教育をよりどころとし、子ども一人ひとりに寄り添った保育計画の元、日々の明るく楽しい保育実践を続け、子ども達の日々の生活の中で発達を保障して行く事を伝え保育を進めてきた事は保護者との信頼関係にも繋がっていると感じました。家族・保護者の皆様をはじめ、関係者、地域の皆様からの温かいご支援、御協力を賜りましたことを心から感謝いたします。

2. 事業経営

定款の定める本法人事業目的のため、保育所型認定こども園を経営しました。

[全体総括]

5類移行後は地域との関わりが少しずつ増えました。以前と同じではなく、互いの情報を伝え合いながらどうしていくかという具体的な話が出来たようになったのは、コロナ禍の体験を今に生かそうとする意識です。社会に溢れる情報に惑わされるのではなく、悩んだ時には子どもの為にどうあったらいいかと考える事を何度も何度も皆でやってみて、それが考える時の柱となってきました。その柱が自分達の中にある事に気付くきっかけが公開保育でした。園内研修講師・姫野先生主催の保育関係者研修を本園で開催しました。自園の保育を改めて考え、大切にしていることや願いがあること、子ども達と共に成長している自分自身にも気付きました。公開保育当日までの時間に沢山の学びがあった事を体験したことで、子ども達も行事までの時間に学びがあるという視点が今まで以上に腑に落ちました。そしてその体験は職員間にもプラスの影響となり、日々のエピソードや気付きや悩みを互いに話す機会が増えました。

年3回、クラス毎に開催した保育の祭典では、保育と発達を伝えました。繰り返し伝えていくうちに子どもの姿をどう捉えているかという園の寄り添う保育の視点が浸透してきていることを保護者のエピソードから感じました。このエピソードは保育参観・参加の後に別室で行う懇談会の時に保護者から聞いています。目の前で見た子どもの姿や保育士の関わりについて、感じた事や気付いた事を聞き、それに職員が答えています。子ども一人ひとりをしっかり受け止め、個を尊重し、自尊心を育むことで、友達や他人に対してのやさしさや思いやり、又、活動に取り組む意欲や集中力を育てる保育を職員1人ひとりが一生懸命考え実践し、その願いを保護者へ伝えました。年度末の保護者アンケートでは「職員と子どもの信頼関係があり、安心できる場所になっている」という言葉があり、職員一同嬉しかったです。不適切保育や虐待のニュースが続く中、この安心を感じているという現状を大切に、保育を進めていきます。又、その環境を作り出している職員も安心して業務に取り組めるように、職員が互いに支え合い高め合う関係性を目指しました。今年度の取り組みの1つにペアでの学びがあります。経験者と若手職員が学ぶ合う、双方向的学びです。若手職員が保育を見て学ぶだけでなく、経験者は相手がどの部分をキャッチしていて、どの部分をしていないのか、捉え方の違いの背景はどこにあるのかなどペアで同じ時間を過ごし、そして振り返り、またやってみる・見てみるを繰り返しました。期間は人的余裕がある新年度始まるの4月より3か月としました。対話を通し相手を知る事で互いを理解し、出来ないことへ挑戦したり、その姿を認める関わりなどを学びました。関係性が深まった事で職員間の対話が保育の話になり、子どもを真ん中にした保育にまた一歩近づいたと感じてい

ます。食育計画に添っての毎日の給食は子どもが夢中になって遊ぶ為の健康な心と体に欠かせないものであり、家庭へも「早寝・早起き・朝ごはん」の必要性も繰り返し伝え続けています。又、季節や子どもの興味関心に応じての食育活動も展開し、月に一度のお弁当の日には家族の愛情を感じながら園庭や散歩先でのお弁当も楽しんでいます。保護者も、園児も、職員も吉井にじいろこども園が子どものより健やかな育ちを約束し、実践できる施設であることを実感し過しています。年長組は大宮プール教室や乗馬教室に通う体験活動からも成長を感じました。

「えがおの家」では、子育て支援、学童保育事業に取り組み、学童では卒園児が就学後成長して行く中で乳幼児期の体験を土台とし、人とやりとりをしたり、考えたり、挑戦したり、振り返ったりしています。「あの時みたいにな…。」とこれまでの体験を通して今を生き、考え、大きくなっていく姿があります。学童の子ども達のように乳幼児期に沢山の「あの時」体験を保障して行きたいと思えます。子育て支援では利用する親子にとって安心できる時間になる事を願って取り組み、事業の必要性も実感している所です。令和5年度も皆様のご協力のもと、子どもの最善の利益を目指しながら、子ども主体で保育をすすめ、子ども達の心身の成長を実感する1年となりました。今後とも一層の保育の充実を図り、皆様と協力しながら歩んでいく所存です。

【職員の状況】

職名	令和5年4月1日 の職員数				年間退任・就任						令和6年4月1日 の職員数				
	正規職員	有期契約職員		計	正規職員		有期契約職員				計	正規職員	有期契約職員		実人員合計
		契約職員	パート		就任	退任	契約職員		パート						
							就任	退任	就任	退任					
園長	1			1								1			1
事務長	1			1								1			1
保育士	17		1	18					1	1		16		1	17
看護師			1	1										1	1
調理員	3			3								3			3
用務員														1	1
事務員	1			1								1			1
副園長	1			1		1						1			1
保育補助															
嘱託医		2		2									2		2
計	24	2	2	28								23	2	3	28

[施設運営状況]

入所状況については、4月66名でスタートし、年平均74.8名となっています。

2.3号認定については年度初めより利用定員に近い入所者数となっておりますが、1号認定については入所者数に余裕のある状況となっております。

年度中に、前年度からの育休取得者が2名でした。インターンシップ生を受け入れ、保育士の確保も出来、保育に支障が無い状態の中で保育を行うことが出来ました。

延長保育、障がい児保育、幼稚園型一時預かりは補助事業となり運営の安定化に繋がりました。

[利用者支援状況]

子育て支援、家庭支援の重要性を年々感じ、状況に応じた職員体制や保育内容等を整備しながら子どもたちが安定した生活が出来るよう対応しました。

一か月単位変形労働制により子どもたちと担任の関わりを深く親密なものとし、一人ひとりの子どもの発達特性を確認しながら寄り添い、子どもの主体性を尊重し、達成感、満足感を体験できるよう取り組み、保育士間の連携、努力により目的どおり保育をすることができました。

「気になる子ども」への対応については園に講師を招き、園内研修を行いながら職員のスキルアップを計ると共に、保護者との信頼関係を築きながら子どもに対する共通理解を深められる様取り組みました。

アレルギー対応については、保護者・園長・看護師・栄養士・担任が一同に会し、話し合うことで共通理解を深め、子ども一人ひとりに配慮した食事の提供を行い、誤配・誤食等の発生防止に努めました。

[施設整備状況]

・現園舎園庭の維持管理に努めました。

[年間利用状況] (各月月末人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	33	34	35	36	38	39	40	43	44	45	45	43	475	40
女児	33	34	34	34	33	33	33	33	33	34	34	34	402	34
計	66	68	69	70	71	72	73	76	77	79	79	77	877	73

[利用者状況推移] (各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
30年度	16	15	17	14	15	9	86
R1年度	14	13	17	17	14	15	90
2年度	15	15	15	15	17	11	88
3年度	14	13	16	17	14	17	91
4年度	12	8	12	15	15	14	76
5年度	16	12	10	10	15	14	77

[主な行事] 令和5年度

4月	入園式	10月	稲刈り
	身体測定(毎月)	11月	七五三参り
	火災避難訓練(毎月1~2回)		芋ほり
	おべんとうの日(毎月)	12月	もちつき
	保育の祭典(各クラス、年数回)		クリスマス会
5月	ぎょう虫検査	1月	どんど焼き
	尿検査(年2回、11月)		味噌づくり
	内科検診(年2回、11月)	2月	節分集会
	歯科検診	3月	ひな祭り集会
	不審者侵入避難訓練(年4回)		お別れ遠足
	個人面談		卒園式
6月	田植え		
	水遊び(6~8月)		
	プール(年長児のみ6月~3月)		
	乗馬(年長児のみ6月~3月)		

[その他について]

① 安全管理

- ・防災訓練 毎月1回避難訓練、消火訓練、通報訓練を実施
- ・不審者侵入対応訓練 地元警察・地域住民との連携訓練
- ・健康管理 園児・職員の定期診断及び調理・保育士全員の細菌検査を毎月実施
インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、大腸菌感染症等の発病時には速やかに保護者に通達し協力を仰ぐ
- ・安全管理 園庭遊具の週1回の点検

②地域交流

茶話の里へよさこい披露、南小学校との交流会

3. 苦情内容及び結果の公表

今村有希子、川内野公隆、吉田恵美子

なし